

# 北村 亘

## 法学研究科・教授

### 【研究】

科学研究費基盤研究Bの官僚の選好調査を行うべく、海外の理論動向を把握し、質問文作成に従事した。また、調査を実施するべく、個人情報保護しながらオンライン入力するための技術について中央調査社と協議する一方、対象6省の担当者と協議し、人事システムの違いについて学ぶことができた。文部科学省については、地方自治観を中心に分析を行い、大学を代表して発表を行う一方、東信堂より出版も行った。地方自治研究では、2015年以後の大阪都構想に関する制度設計について分析を行い、論文として発表した。

### 【教育】

特に演習では、中央省庁のご協力を得て、現役官僚(特に卒業生)との意見交換会を実施した。各省庁の施策や担当者の個人的な業務経験などを報告してもらった上で意見交換会をもった。この見学会は、学生に中央省庁などで公務員として勤務したいという気持ちをもたせる効果があり、その後の法律学などの勉強の強い動機づけにもなっている。

院生については、研究指導に加えて、学会報告の事前準備や各種研究助成の申請手続きでの指導を行った。幸い、2名の院生が学術振興会の特別研究員に採用された。また、別に国費留学生1名が博士学位を授与され、2019年度の助教に採用された。

### 【管理運営】

全学では公開講座運営委員会の副委員長として各種の公開講座の企画立案に関与した。また、豊中地区研究交流会については、幹事部局の委員として各部局をまとめ2018年12月に実施することができた。また、研究科の広報室長として、ペーパーレス化とともにホームページの充実をはかり、その掲載内容の決定などに従事した。年度末には本部広報からの依頼で、総長と在阪報道各社との懇談会での研究発表を大学の研究者を代表して行った。

### 【社会貢献】

日本行政学会の理事に就任し、学会の円滑な運営に従事してきた。また、中央省庁や地方自治体の各種委員や職員研修を前年度同様に務める一方、全国紙や地方紙に大都市制度や地方自治一般に関する論考やコメントを発表した。吹田市では総合計画審議会会長として同市の総合計画を策定した。阪大 JICA プロジェクトで日本の地方自治・地方財政の講義を英語で行った。本学とマッセとの共同研修の中で池田市職員の指導にも従事した。台湾においても行政学者との研究交流に加え、大阪大学の一般向けに ispot 講演なども行った。

### 【特記事項】

産学連携室の室員(副理事)退任後も、基礎工学研究科や理学研究科を中心とした研究者の意見交換の場に参加し、理系と文系との意見の乖離を埋めるべく努力し、豊中地区研究交流会の実施にも尽力した。大学と報道関係者との懇談会では、記者や理系研究者にも社会科学の面白さを伝えるべく努力を行った。また、高知西高校や比叡山高校に対しては本部からの要請もあり、法学や政治学に関する出張講義を行った。広報を通じての駿台予備校からの依頼も受けて講演を行った。